



2015～16年度
国際ロータリー会長
K. R. ラビンドラン

Weekly Report Niigata



世界へのプレゼントになろう

2015～16年度 国際ロータリーのテーマ



2015～16年度
新潟ロータリークラブ会長
竹石 松次

新潟 RC10月第 4例会 (2015.10.27) No.3108

(1) ロータリーソング「それでこそロータリー」斉唱

(2) 竹石 松次 会長挨拶

諸橋轍次

明治十六年(1883)～昭和五十七年(1982)

「幾十多飛(いくそたび)夢に通ひし

故さとの 水はうるわし 山はうるはし」

故郷をこよなく愛した漢学者、諸橋轍次は、三条市庭月(旧南蒲原郡下田村字庭月)に生まれた。父・安平、母・シズの次男として誕生、漢字の素養があった父が、中国北宋の文豪、蘇轍にあやかって轍次と命名。

絶壁、八木ヶ鼻の麓に育った轍次の父安平は、新潟第一師範学校に入学、ふるさとの学校の校長となり教育者として始動した。

明治十九年、校舎が焼失したことから翌年、私塾[嵐陰義塾]を開く、明治二十二年(1889)市長村制が施行されたことで小学校の校長となり、大正三年まで約四十年間子弟の教育にあたった。このため諸橋家は『訓導様』の屋号で呼ばれる程であった。

父の下で、四、五歳の頃から三字経や中国の漢詩を学んでいたが、村松町出身の奥畑米峰が、明治二十七年、下田郷の求めに応じ、「静修義塾」を開いたことから、ここで学問を習うこととなり、「史記」「論語」「十八史略」を学んだ。

中でも漢学に対する基礎知識は、十四歳の春から三年間、起居寢食を共にした塾頭、奥畑米峰から大きな影響を受けた。米峰は、「静修義塾」を開いた六年間に百六十六名を教育、この中に長男、時三郎、次男、轍次がいる。

この時、米峰が教えた大丈夫の心構え、孟子の言う次の言葉が終生の人生訓となった。

「天下の広居(仁)に居り、天下の正位(礼)に立ち、天下の大道(義)を行。志を得れば民とこれに由り、志を得ざれば独りその道を行。富貴も淫する能わず、貧賤も移す能わず、威武も屈する能わず。此れをこれ大丈夫と謂う。」

清貧を旨とし、大事業である大漢和辞典編纂の信念がこの時に醸成された訳である。

轍次は、十七歳で塾を去り、地元の大和村尋常小学校の代用教員に就任、明治三十三年(1900)、新潟県第一師範学校に入学、その後、明治三十七年、講道館を創設した加納治五郎が校長を務めた東京高等師範学校国語漢文科入学、天下、国家の見地から教育の重大性を教育の本文とされ生涯の理解

者となった。

卒業後は、群馬師範、東京高等師範・附属中学校、母校の研究科入学など、漢学との研究に没頭、卒業論文に「詩経」を選定、このことも切っ掛けとなり、加納治五郎校長の尽力もあり、念願の中国留学が実現することとなった。

大正七年五月、四十日間の出張であったが中国旅行に出発、漢口から北京への道中、殷墟を訪問、亀甲獣骨文字が発掘され、漢字の基となった地点に足跡を残すこととなった。

この留学の一年後、三人の子供を抱える中で、中国留学の向学心に火が付き、自分の持ち家を売却し、家族を故郷の下田村庭月に帰すことも考えた。結局、文部省の派遣留学生として行くこととなったほか、加納治五郎校長や周囲の尽力で、経済界の重鎮であった三菱の岩崎小弥太や実業家の渋沢栄一の支援を得て二年間の留学が実現した。因みに帰国後三菱が運営する静嘉堂文庫長に就任している。

中国では、専ら読書に明け暮れたほか、北京大学学長蔡元培、陳独秀、李大釗、周作人、胡適、康有為、陳宝琛等がいる。研究中に辞書を引いて意味を調べたり原典を探ったりする上で適切な辞書が見当たらず苦労したことが、後の「大漢和辞典」編纂の動機となったと言われている。留学中に体験した模様を「筆戦余塵」「遊支雑筆」として著わしている。

昭和三年、四十六歳の時、大修館社長・鈴木一平から、漢和辞典編纂を依頼された。

「先生のおきに済むまで時間をかけて、立派な辞書を作って頂きたい」

この要請に全精力を傾ける編纂作業が開始された。

資料の整理は、大東文化学院の卒業生、在校生によって行われた。豊島区、杉並区、新宿区と転々とし、『遠人村舎』の編集所で編集作業が開始され、親字約五万語、語彙五十万に及ぶ作業をおよそ十年の歳月をかけて出版にこぎつけた。全原稿の棒組みは三万八千五百九十一段に及び、中国清の皇帝・康熙帝の勅命によって編纂された「康熙字典」全四十二巻四万七千三十五字を凌ぐ内容であった。

特色は韻書に基づいて字音を明らかにし、解字には、象形、指示、会意の三種について解説しているところである。語彙の出典、用例は、経、史、子、集の順に古い順に編集されている。

昭和十八年(1943)、第一巻が発刊されたが戦時下に入り中断を余儀なくされた。その上、二十年の大空襲で出版社と整理所が全焼、資料、原版の鉛九十三・七五トンが水泡に帰した。

そして、原稿の再整理と原版の復活に更に十五年の歳月が必要となった。この間、食糧難や協力者の病死、自身の白内障による視力の損傷に遭遇、また良き理解者であったキン子夫人が亡くなるなど困難辛苦の連続であった。

出版契約以来、三十三年、昭和三十五年全十三巻の「大漢和辞典」が完成した。昭和五十三年六月四日、九十六歳の誕生日を迎えられた轅次は「拙著を永遠のものとなし、漢字文化の闡明に由って人類の幸福に裨補せんとする素願は、茲にその礎石を得たのである。後顧の憂いはない」大漢和辞典修訂の序で記している。

轅次の三男で、三菱商事社長を務め、平成二十五年に亡くなった晋六氏は、平成二十一年、三条市で講演、「父からの手紙で、人間上り坂の時が、下り坂の時より注意を要するものなのです。上に在りて驕らざれば、高くとも危うからず。中国の古典「孝経」の言葉を漢学者らしく文書にしてくれました」と語っている。

生誕の地に諸橋轅次記念館が建てられており、漢字に生涯を捧げた轅次の書籍、大漢和辞典、それに、遊びながら学べる、漢字手のひらクイズ、漢字サークルビジョンが揃っている。

近年は中国駐新潟総領事館から、里燕画伯の水墨画「雲海」、中国風東屋「観觴亭」が贈られたほか、子供たちによる漢詩大会も開かれている。

建物の正面には座右の銘「行くに径(こみち)に由らず」、と人生の道は、右顧左眄するのではなく、堂々と本道を歩きなさいと諭している。

轅次は、文化勲章受章、文化功労者、名誉市民に選ばれるなど漢学者として昭和五十七年十二月、百歳の天寿を全うした。

(3) ゲストの紹介

講演会講師、村上勝彦さん、照内太郎さん、江川穰さん、團原宗蒲師、ご家族、鷲頭 静子さん、樋熊 須美子さん、石本陽子さん、登坂幸子さん、高橋歩さん、竹石宏子さん、塚田春江さん、徳永成子さん、山田恵美子さん、米山奨学生 朴 治国さん、新潟RA4名

(4) 委員会報告

・石川 治彦ライラ委員長 10月24(土)～25日(日)に15回地区ライラ研修が行われライラ委員会として石川と村松さん海津さん地区のライラ委員の吉田さん新潟ロータリーアクトから吉岡会長と田中さんが参加となりました。今年度は新津中央ロータリークラブがホストクラブで健康な生活を送るために貴方は何ができますかといったテーマで行われ今回は会場として新津にあります新潟薬科大学にての開催で開会式の後、新潟薬科大学教授の青木定夫氏より健康寿命の伸ばし方健康な日常生活を送るため基調講演がありました。研修参加者というよりまさにロータリアン向けの内容で健康寿命を延ばす事が社会にとっても個人にとつ

てもとても大切な課題であることを学びました。その後(健康的に)県立植物園、石油の里を見学し田上のわか竹にての懇親会宿泊となりました。翌日の研修生はでは講義や研修テーマを踏まえて 午前中グループ協議を行い 午後はグループ発表をテーマに各班に分かれて発表を行いました。どの班も個性が出ており、演劇や絵を使った発表も見られました。その後閉会式が行われ次年度新潟クラブがホストクラブという事で地区ライラに出向している吉田さんから挨拶があり、今回の研修の謝辞として新潟ロータリーアクトの会長である吉岡さんより健康に対する想を交えお話されていました。次年度新潟RCがホストでの開催ですので今回の参加を良い経験とし次年度の開催に役立てたいと思います。

(5) 同好会報告

・高橋清文野球同好会 監督

<旧市内7RC 野球大会の報告>

先週の24日(土)エコスタジアムにて標記の大会が行われました。新潟クラブは第2試合で中央・北クラブと対戦して残念ながら2-12で大敗してしまいました。相手クラブは今年から都市対抗試合の経験者2人を擁して30～40歳代のメンバーで固める大変手強いチームでした。そんな中我がチームは3人の投手(山田隆一さん・町田さん・若槻さん)が奮闘して何とか対抗することが出来ました。ほとんど練習もなくぶっつけ本番で臨んだ今回でしたが人が人もなく終了出来たことにほっとしております。参加選手の皆さん大変お疲れ様でした。ありがとうございました!

・福地利明ゴルフ同好会幹事より10月25日コンペ報告

優勝 堀盛富君 準優勝山田眞君 3位 小飯田澄雄君

(6) ニコニコボックス紹介

・高橋 康隆君 昨日は商工会議所で議員勤続30年で表彰されましたので、只、長いだけでしたのに。

・若杉 武君 商工会議所の定義委員を退任しましたら表彰状を頂きました。お役にたてなかったのに心苦しいような、有難い様な。とにかくニコニコします。

・堀 盛富君 10月25日のRCゴルフコンペに於いて大変恥ずかしい事ですが104で優勝させて頂きました。ブーイングが起りそうですがこの場に免じてお許しを頂きたいと思えます。また、パターを一時紛失し、貸したパターでグリーンエッジから7～8Mを一発で入れた中山さん、長いゴルフ暦でパターを紛失した人を始めて見ました。キャディーさんに「パターは私が持って行きますから触らないで」と怒られて可哀相だったので私がニコニコします。

(7) 幹事報告(細野 義彦副幹事)

・10月31日、11月1日地区大会にご出席の方は、各自名札をお持ち願います。

(8) 10月27日例会の出席率 73.91 %

会員数99名(出席免除会員 9名)

出席者68名(出席免除会員3名を含む)

(2週間前メーク後 86.02 %)

年次総会開催告示

新潟ロータリークラブ年次総会を下記により開催いたします。

期日 平成27年12月1日（火曜日・第1例会）

付議事項 一、

次々年度会長並びに次年度理事会メンバーの承認

以上クラブ細則第一条第二節により告示します

平成27年10月28日

新潟ロータリークラブ 会長 竹石 松次

懇親会

- 17:15 親睦委員集合:受付等準備
- 17:30 受付開始
- 18:00 例会開始・点鐘
- 18:30 懇親会開会 演奏
- 18:40 乾杯:横山芳郎PG
- 20:25 手に手合唱
- 20:30 閉会挨拶:石本隆太郎PG

